



Japan Sporting Equipments Retailers Association

No.62

編集/発行:日本スポーツ用品協同組合連合会  
〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-8-6  
東京スポーツ会館 301号室  
☎ 03-5829-6490 FAX 03-5829-6491  
ホームページ <http://www.jsera.jp/>  
E-mail [jsera@jsera.jp](mailto:jsera@jsera.jp)

(2012/8~2013/7のスローガン)

次代に向けた プラス考動を



あ い さ つ

JSERA・日本スポーツ用品協同組合連合会

理事長 重 森 仁

北の大地、凜とした空気の下、北海道知事（代理）様始め、多くの来賓の方々のご臨席を賜り、メーカー・卸様、関係団体様から代表の方々ご出席をいただき、全国大会の式典が開催できましたことを感謝いたします。ありがとうございました。日頃よりご理解、ご協力を賜っていますが、あらためて心よりお礼申し上げます。

さて、式典に先立ち行われました定時総会におきまして、理事長に指名いただきました。身の引き締まる思いです。2期目になります。自分のカラーを出し、組合員の皆様と手を繋ぎ、関係者の方々と連携を密にして、諸課題と向き合っていきたいと思います。ご理解、ご協力を重ねてお願いいたします。

さて、課題の1つは、スポーツによる震災復興です。その一歩として、今年始めから、復興オリジナルTシャツ、タオルを組合員の皆様に販売していただき、それによりいただいた浄財に本会計予算を加えて、10月28日宮城県で復興ウォーキング大会を開催いたしました。ご協力いただきました関係各位に厚くお礼申し上げますとともに、会場の石巻市に出来た復興の輪が太く、大きくなりますよう祈念いたします。今後は、岩手県において、スポーツ指導者育成と連動した復興事業が計画されています。地元組合と連携して推進して

いきます。福島県では、原発事故の影響で困難を極めています。困難であることは、裏を返せば、現実の深刻さと、それゆえに何としてもやらなければならない状況にあることを意味します。スポーツ振興に向けた取り組みが何かできないか福島組合の皆様、JSERA会員の皆様と知恵を出していかなければならないと思っています。

次に、東京オリンピック招致活動も大切な課題と考えます。ロンドンオリンピックで国民の士気は大いに上がりました。日本で開催されればさらに士気は上がることでしょう。それに加えて、ハード、ソフト両面で後々まで効果を及ぼすことが期待されます。スポンサー制限等がある、自由に活動することはできませんが、可能な限りメーカー様、そして卸様と連携して、関わっていきたいと思います。

事業の推進にはまだ夢がありますが、日常の販売業務には閉塞感が漂います。特効薬はないことはわかっていますが、それでも求めてしまいます。

私ごとですが、数ヶ月前、営業車を買替えました。最近、安物の自動車でも、いろんな計器が付いています。その車には、リッターあたりの走行距離が随時、表示されます。自動車購入当時は、ここ何年と乗ってきた乗り方で走っていて、11km/L程度でした。先の計器を見ながら、加速

の仕方、速度加減、信号での止まり方など色々変えて見て大きな変化に気が付きました。上手に乗れば、13から14km/L走行できることがわかりました。いままで、満タンで550kmほどの走行でしたが、今では650kmから700kmほど走行できるようになりました。何気なしに何十年も当たり前のようになり回してきたわけですが、少し工夫をすれば20%もガソリンの節約が可能になったのです。普段通りの平生の業務にもこんな改善の余地があったことに驚きました。日常業務も各組合の事業も、JSERA事業も見直せば、新たな発見、感動があるかも知れません。我々中小零細小売の特性は何でしょうか。それは柔軟性、機動性でしょう。代表者の決断でいろんな転換ができます。社長にやる気があるならスピード感をもって変革して行くことが可能です。どうか些細なことと思わず、業務や事業を見直してみたいものです。

その一方、中小零細小売の弱点は、規模と情報ではないでしょうか。スケールと情報量・質で圧倒的に不利な立場にあります。その規模、情報の弱点をカバーする一つが組合だと思います。ゆえに、組合員同士の強固な連携が大切であり、新鮮で十分な情報を流せることが価値となります。インターネットの普及はけして、良いことばかりではありませんが、新鮮で十分な情報を流せることに関して安価になったことは極めて意義があります。これを活用することは大切と考えます。たとえば、JSERAの広報活動について考えましょうか。今は、レポートという形でペーパー物が中心ですが、インターネットの活用、たとえば、HP、ツイッター、フェイスブック、ブログ等の有機的活用が挙げられます。それは、広報だけでなく、会議の方法や予算の組み替えにも発展するかも知れません。我々、組合員が、柔軟性を持って前進しつつ、組合が組合員の連携を強化していけば、可能性は広がるはずです。

理事長2期目として、引き続き「利益率向上」に取り組むとともに、JSERAの事業が、個々の組合員の「やる気ある柔軟性」を引き出しているのか、「組合員の連携」を高めているのか検証しつつ、事業、組織を改善して行きたいと思います。更に、スポーツ業界関係の方々とは力をあわせ、夢

日本スポーツ用品協同組合連合会  
平成24年度・25年度 新役員名簿

|      |        |                     |      |
|------|--------|---------------------|------|
| 理事長  | 重森 仁   | 滋賀県スポーツ用品協同組合       | 理事長  |
| 副理事長 | 武宮 兼敏  | 福岡県スポーツ用品小売商協同組合連合会 | 理事長  |
| 副理事長 | 角前 博道  | 三重県スポーツ用品協同組合       | 理事長  |
| 副理事長 | 関水 正章  | 神奈川県運動具商協同組合        | 理事   |
| 副理事長 | 土赤 光宏  | 愛知県スポーツ用品商業協同組合     | 理事長  |
| 専務理事 | 蓮田 茂樹  | 石川県スポーツ用品協同組合       | 理事   |
| 理事   | 関口 孝夫  | 埼玉スポーツ用品小売商業協同組合    | 理事   |
| 理事   | 穴戸 幸市  | 栃木県スポーツ用品販売協同組合     | 副理事長 |
| 理事   | 美馬 義一  | 高知県スポーツ用品小売商協同組合    | 理事長  |
| 理事   | 笹渕 信嘉  | 福岡県スポーツ用品小売商協同組合連合会 | 理事   |
| 理事   | 松村 善行  | 宮城県スポーツ用品協同組合       | 理事長  |
| 理事   | 桑原 勇健  | 福島県運動具商業協同組合        | 理事長  |
| 理事   | 尾坂 真人  | 鳥取県運動具商協同組合         | 理事長  |
| 理事   | 堀田 浩一  | 岐阜県スポーツ用品協同組合       | 副理事長 |
| 理事   | 前田 哲   | 大阪スポーツ用品専門店協同組合     | 副理事長 |
| 監事   | 矢野 幸太郎 | 兵庫県運動用品商業協同組合       | 理事   |
| 監事   | 安西 昭雄  | 会計事務所               |      |

感謝状贈呈・功労者表彰名簿

◎ 感謝状贈呈

| NO. | 行 事       | 年度 | 組 合 名            | 理 事 長   |
|-----|-----------|----|------------------|---------|
| 1   | 国民体育大会    | 24 | 岐阜県スポーツ用品協同組合    | 澤田 基 朗  |
| 2   | 全国高校総体    | 24 | 新潟県スポーツ用品小売商協同組合 | 伊藤 章    |
|     |           | 24 | 長野県運動用品専門店協同組合   | 後藤 信 治  |
|     |           | 24 | 富山県スポーツ用品協同組合    | 木村 達 郎  |
|     |           | 24 | 石川県スポーツ用品協同組合    | 甲 秋 水   |
|     |           | 24 | 福井県スポーツ用品協同組合    | 竹原 和 彦  |
| 3   | 全国中学校体育大会 | 24 | 茨城県スポーツ用品組合      | 坂下 英雄   |
|     |           | 24 | 栃木県スポーツ用品販売協同組合  | 石 崎 照 雄 |
|     |           | 24 | 群馬県運動具商協同組合      | 石 坂 元   |
|     |           | 24 | 埼玉スポーツ用品小売商業協同組合 | 青 柳 征 文 |
|     |           | 24 | 千葉県スポーツ用品組合      | 鈴 木 敏 郎 |
|     |           | 24 | 東京スポーツ用品専門店協同組合  | 後 関 成 夫 |
|     |           | 24 | 神奈川県運動具商協同組合     | 山 岸 義 明 |
|     |           | 24 | 山梨県スポーツ専門店協同組合   | 田 辺 裕 人 |
| 4   | JSERA全国大会 | 23 | 埼玉スポーツ用品小売商業協同組合 | 青 柳 征 文 |

◎ 功労者表彰

| NO. | 所 属 組 合 名         | 氏 名       | 店 名           |
|-----|-------------------|-----------|---------------|
| 1   | 北海道スポーツ用品小売商組合    | 廣 野 勝 利   | ヒロノ(株)        |
| 2   | 秋田県スポーツ用品商業協同組合   | 大 野 日 出 治 | (株)竹半         |
| 3   | 山形県スポーツ用品小売商業協同組合 | 故 渡 辺 勲   | ナカジマススポーツ     |
| 4   | 茨城県スポーツ用品組合       | 笹 谷 忠     | (株)大島スポーツ     |
| 5   | 埼玉スポーツ用品小売商業協同組合  | 尾 島 國 太 郎 | (有)KOスポーツ     |
| 6   | 神奈川県運動具商協同組合      | 安 藤 道 雄   | (有)リンクマン      |
| 7   | 山梨県スポーツ専門店協同組合    | 中 澤 信 二   | 河野スポーツ(株)     |
| 8   | 新潟県スポーツ用品小売商協同組合  | 池 田 馨     | (有)イケダスポーツ    |
| 9   | 石川県スポーツ用品協同組合     | 辰 川 志 郎   | (有)辰川スポーツ     |
| 10  | 福井県スポーツ用品協同組合     | 赤 川 重 信   | パンススポーツ       |
| 11  | 静岡県スポーツ用品商業協同組合   | 大 澤 勲 夫   | (株)オオサワ       |
| 12  | 京都運動具商協同組合        | 永 辻 啓 介   | サガノスポーツ       |
| 13  | 大阪スポーツ用品専門店協同組合   | 中 川 善 博   | (株)マルナカスポーツ   |
| 14  | 奈良県運動用具小売商協同組合    | 野 田 詢     | (有)ノダ運動具店     |
| 15  | 和歌山県スポーツ用品小売協同組合  | 山 本 武 士   | (有)城北スポーツ     |
| 16  | 岡山県運動具商協同組合       | 山 下 日 出 夫 | (株)山下体育社      |
| 17  | 香川県スポーツ用品協同組合     | 中 村 弘     | (有)中村スポーツ店    |
| 18  | 愛媛県スポーツ用品小売商組合    | 眞 鍋 信 夫   | (有)マナベスポーツ    |
| 19  | 高知県スポーツ用品小売商協同組合  | 門 田 忠 尚   | (有)プロエース      |
| 20  | 佐賀県スポーツ用品協同組合     | 中 島 紘 一   | (有)中島スポーツ     |
| 21  | 熊本県スポーツ用品協同組合     | 藁 田 昭 吾   | オリンピックスポーツ(株) |

ある業界の構築に微力ながら尽くしたいと思えます。ご指導を宜しくお願いいたします。

最後になりましたが、全国大会において、すばらしいシチュエーションを準備して下さった北海道・東北ブロックの皆さん、とりわけ、北海道組合の皆さんには心よりお礼を申し上げます。研修会のパネルディスカッションの中で、若手経営者の語る夢に胸を熱くして、2期目のスタートができますことを嬉しく思います。力を合わせ、頑張りましょう。

## 第 13 回定時総会 2012 北海道大会ご案内

会場：札幌グランドホテル

平成 24 年 10 月

### 16 日 (火)

18:30～ ジンギスカンタ会食 札幌ビール園

### 17 日 (水)

#### ●定時総会・全国大会

9:00～ 受付 (組合員)  
10:00～12:00 第 13 回 定時総会 別館 2F グランドホール  
12:00～12:50 受付 (来賓・メーカー様・卸様)  
13:00～14:00 全国大会「式典の部」 別館 2F グランドホール  
14:10～15:20 研修会 第 1 部(三層)講演会 別館 2F グランドホール  
講師：橋本 聖子氏  
演題：私のアスリート人生～オリンピックが教えてくれたもの～  
16:00～17:30 研修会 第 2 部 (三層)  
①パネルディスカッション 本館 2F 金枝  
テーマ：「自社の強みを研く!! 目指せコアコンピタンス経営」  
②レディースフォーラム 東館 17F 層雲  
18:30～20:30 三層懇親会 別館 2F グランドホール  
20:45～ 二次会 オールドサルーン 1934 別館 1F

### 18 日 (木)

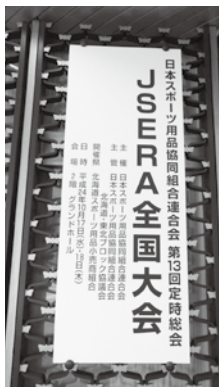
#### ●観光ツアー

7:00～ 朝食  
8:00 ホテル出発  
8:00～15:30 「大倉山ジャンプ競技場と小樽散策」  
14:00～14:30 札幌駅 解散  
15:00～15:30 新千歳空港 解散

#### ●三層親睦ゴルフコンペ 於：小樽カントリー倶楽部

6:00 ホテル出発  
7:30～ スタート  
14:00～14:30 ゴルフ場 解散  
15:00～15:30 札幌駅 解散

## 13 回北海道大会



## 全国大会を開催して

北海道スポーツ用品小売商組合  
理事長 村住 俊 幸

先般、開催されました第 13 回定時総会・全国大会の御礼とご報告を申し上げます。

大会スローガン「北の大地で誓おう 変革こそが次代を拓く！」のもと総勢 185 名のご登録をいただき、誠にありがとうございました。心から感謝を申し上げます。

昨年の埼玉県大会で関口理事長から JSERA 旗を受け取った時、果たしてうまくできるか不安でしたが、まずは年末までに骨太の部分をしっかり考えました。ご承知のとおり、北海道の開拓がスタートしてわずか 150 年。フロンティアスピリットを持った先人たちはどのような志を持って広大な北の大地で明日を拓いたのか。豊かな自然に誇りを持ち、豊かな未来を創りあげていく事が北の大地に夢を馳せる先人たちの使命だったと思いま

す。

1 月中旬にはその開拓精神から大会スローガンを掲げ、少しずつ肉付けをしていきました。そして実行委員会を立ち上げ、3 名の副実行委員長にそれぞれ研修担当、式典懇親会担当、総務会計担





## 13 回北海道大会



当に分担し、2月中旬の当組合理事会では研修の内容や講師の選定を協議致しました。その中で研修の部ではパネルディスカッションの方向で固まり、また女性フォーラムも同時に企画されました。この時点で前日のジンギスカン夕食会、バスツアー、三層懇親ゴルフコンペ等の内容、予算も決定しました。今思えばこの11月～2月の動きが後々いい流れになったと思います。全国どこでもそうだと思いますが、我々の商売は春先の学販から新学期、連休前後は全く他の事は出来ません。全国大会までのスケジュールを決めた時もあえて3月中旬から5月初旬までは仕事に集中しました。6月中旬まで講演会の講師選定がうまくいかなかった程度であとは順調に推移しました。

7月の組合総会時に案内状送付も出来、あとは参加人数がどの位になるか選挙の票読みの様でしたが、とにかく先に出来る事はどんどん前のめりになってやりました。8月～9月は講演会やパネルディスカッション、懇親会の料理、予算等の細部をつめ大会を迎えました。



ジンギスカン夕食会はこちらの予想をはるかに上回る101名の参加をいただき、盛況に終わりました。大会当日は会議や講演会中は雨だったものの、翌日は北海道らしい爽やかな秋空のもと観光とゴルフが出来ました。期間中、全てのスケジュール



が時間通り進み終える事が出来、ご協力いただいた皆様に感謝を申し上げます。

反省点は懇親会の料理が少なかった事。北海道の食を楽しみにしていた人をがっかりさせたかもしれません。紙面をお借りしてお詫び致します。他にも至らない点が多々あったかもしれませんがご容赦願えれば幸いです。

最後になりましたが、北海道・東北ブロック協議会の松村会長をはじめ、各県理事長様、それぞれ最大限の動員をしていただきありがとうございました。そしてJSERAの蓮田専務理事、事務局



の田中さん、小沼さん、いろいろ面倒をかけましたがお陰さまで無事終える事ができました。本当にありがとうございました。来年の島根県開催の成功を祈念いたしまして大会報告と致します。

## レディースフォーラム開催について

北海道スポーツ用品小売商組合

専務理事 吉田 留美子

10月17日（水）PM4時、外はあいにくの雨。しかしながら全国から集まって頂いた女子会（？）15名の会場は熱気ムンムン!!（少々オーバーかな）念願の“レディースフォーラム”を札幌で開催する事が皆さんの協力によって実現致しました。

今から3年前、鹿児島での全国大会に始まり、奈良・埼玉と参加して感じた事は、女性の出席が少ないなあー、仕事でも男性と同様に働き母として妻として苦労している人達と会って話をしたい。そんな想いからこの企画を提案する事にしたのでした。何人かの人達には直接電話でお話しをして、快く参加をして頂いた方々本当に有難うございました。

さて、内容はといいますと、1時間30分では全然足りませんでした。女性同士5人1組のグループになり、熱く熱く語りそして最後は1つのテーブルに集まり、また来年も会いたいネと笑顔で解散しました。

最後にアンケート用紙を配り皆さんに書いてもらった内容をお知らせしたいと思います。

### <アンケート報告文>

◎今日のレディースフォーラムに参加して良かったです。メーカーさん（〇〇会等）に参加しても女性が少なく話す人も少なく眠たい話ばかり・・・家事との両立、子育てなど皆さん自分と同じように頑張っておられるとわかって心なしかホッとした。また、がんばろうと思いました。またこういう機会を楽しみにしています。

◎スポーツ店の奥様とこんな形でお話しする事が出来て本当に嬉しく思います。共通の悩みや楽しみがお互い打ちとけて改めていいと思いました。機会があれば出席したいです。

◎毎年“女性フォーラム”が充実していくようになれば良いと思います。

◎まだまだ引退せずに家族の為に働こうと元気を頂きました。この企画を本当にありがとうございました。

◎皆さんいろいろ悩みをかかえてられるみたいで私だけではないのだなあーと励みになりました。又、このような会を開いてもらえれば嬉しいです。

◎ぬるい自分に反省。がんばろうと思いました。

◎今迄40年間店を手伝って来ましたが、男社会と思っていたのが今思うと残念です。

◎店を経営するにあたって女性の力は、はかり知れないと思います。絶大!!奥様達の頑張りがあから経営が成り立っていると思います。体験談をもっと聞きたいし来年もぜひ行けたらと思います。

紙面の都合上全部載せられないのが残念ですが、全国の女性の皆さん、出会いを大切にしませんか?きっと心に残る事があるはずです。最後に来年“出雲の国”島根でたくさんの女性に会える事を楽しみにしています!!

“感謝”

平成 24 年度 北信越かがやき総体売店

## ～新潟からの挑戦～ ガンバレ東北 新潟は応援します

新潟県実行委員長

湊谷 茂彦

前年度の東北ブロックを青年部を中心に視察をして来て売店の広さ、テント数の多さにびっくりして来ました。その内に売上げ実績が空前であると聞き、それに挑戦しようと思ひ思案を重ね、地の利をいかした売店活動にしなければと、まず最初に考え行動を起こしました。北信越 5 県といっても新潟、長野、富山、石川、福井の五県なので、東北 3 県の用にまとまるとは思っていなかったのが平成 23 年 8 月 24



日、富山県にて各県の代表が集まり協議した結果、各県で売上げや、その他を処理する事が承認された。その結果をふまえて当県は正式に動きだし行政との接触を始めることとした。実行委員会の組織を立ち上げ、伊藤理事長を筆頭に、実行委員長湊谷茂彦、総務委員長幸田孝司、事務局長石田博、会計監事斎藤武、の 5 名で母体を作り、下部に地方理事を置いて、事務所は設置せず、実行委員長、総務委員長、事務局長の 3 名で立案し理事会に計り実行すると平成 23 年 12 月 1 日に県の理事会に承認される。新潟市に開会式の他に六競技が決まっていたので特に新



潟市の行政とは常に 3 名で接触を重ねた。つまり前年度のテント数を確保出来るかどうかが一番のポイントでしたので、その数を必ず確保してもらう用をお願いをし、各地開催の責任者にも同様のお願いをする用に指示を出し、その間に前年度の各メーカー及び組合の売上げを日毎に示し協議する。以上が事前の打ち合わせでしたが、平成 24 年 4 月に新潟市実行委員会準備室が立ち上がり各競技担当者が配属されたのを機会に、本格的に行政と打ち合わせを開始した。何と云っても前年度と同数のテントを確保する事が最大の目的です。新潟市の準備委員会がテント数の確保を約束してくれたので、各地区の理事にも同







様をお願いしてくれる用に伝えて折衝を重ねた。結果的に競技開始寸前で決定した地区もあったが、しかしそれを待たず、平成 24 年 7 月 11 日に販売員を含めた合同説明会を開き JSEC の藪下さん、NES 松井さん、警備会社の責任者中小企業団体中央会の担当者を交え、特に藪下さんからの助言及び注意事項など細部に渡り説明してもらい、松井さんからも商品の発送やおつりなどと陳列の方法とも詳しく説明を受け、警備体制の事等を徹底した。新潟市実行委員会に売店設置業者様へ夜間警備についての文書を各業者へ申し込み用紙と同時に発送してもらいアウトサイダーの業者から賛同を得る事が出来ました。イトダネームについても全県の出店場所のテント数に応じて均等割の計算で後日まとめて本部に請求した。各アウトサイダーの店は競技最終日に精算してもらう事とし実行された。実行委員長、総務委員長、事務局長の 3 人で数十回会いその都度協議し決定して進みました。

総合開会式に皇室が来県し、会場が室内の為警備が厳しく選手、一般客と売店が切り離され苦戦をした。ひき続き陸上競技が始まり売店の位置やメーカー、組合のテント場所等非常に都合の良い場所で売上げも素晴らしく幸先の良いスタートとなり安堵した。続いて各競技が始まり売店活動に入りますが天候が良く気温が上がり熱中症が叫ばれ始めた為、販売員に水やお茶など水分を取る様に指示を出し誰も

熱中症にならずに終わる事が出来た。我々は毎日各競技の売上げ報告を受けつつ会場回りを続け頑張るよう何とか不足のものはないかと気を配りながら巡回をした。新潟市以外の競技には理事長以下 5 名で激励を重ねる、数字的な事は差し控えるが、各売店の報告を聞きながら昨年を超えるかもしれないと話題にしていた。天気が続く中アーチェリーの開催中に竜巻の様な状態になり一瞬驚いた日もあったし、自転車競技は室内販売と同じ様な場所で風の通りが少ない状態での販売で担当者は苦労しながら頑張りました。

競技の開催中でも JSEC の藪下さんが見回りを重ね助言してくれたり NES の松井さん初め各競技の担当者が良く商品の補充してくれたので良い数字が出たと思います。各メーカーに昨年実績をクリアする様にお願いを続けた。

各メーカーの人たちも来県され、各競技を激励していたのが良い結果となったと考える。初めて全会場の様子を写真に取り売店写真集を作り全組合員に配布した。現時点での最終処理は終わってはいないが決算書の作成や報告会の計画等、案を作成中です。最後にガンバレ東北 新潟は応援しますの表題の通り東北地方の方々の応援と暑すぎた天候の中で各競技場の売店の人達の頑張りとメーカーや JSEC 藪下さんの指導 NES 松井さん達の協力や各地区の行政の担当者らに心を込めて感謝しつつおわります。大変有難う御座いました。



## 全国中学生陸上競技大会報告書

千葉県スポーツ用品組合

理事長 鈴木 敏郎

全国陸上競技大会が去る8月19日（開会式）、8月20日～8月22日（競技）の日程で千葉県総合運動競技場にて開催されました。組合、各スポーツメーカー共前日の18日午後より商品の搬入が始まりましたが、商品搬入後と翌日の19日（開会式）は一時的に強い雨にみまわれ商品やテントの移動もありましたが、全体的には好天に恵まれたなかで4日間の売店活動も無事終了することができました。

売上については残念ながら組合目標金額に届かず、前年の大会の数字にも及ばなかったことが悔やまれてなりません。メーカー売上は対前年比プラスになりましたがトータルでは対前年比約70万円のマイナスという結果になりました。

### ■準備

- |              |                                            |
|--------------|--------------------------------------------|
| 平成 23 年 12 月 | 組合、各メーカーのテント数、売店責任者の決定                     |
| 12 月         | 千葉県陸上専門部副委員長に挨拶<br>1月中に売店の詳細を決定する予定とのこと    |
| 平成 24 年 1 月  | 専門部副委員長訪問<br>売店に関してはまだ何も決定事項なし             |
| 2 月          | 売店責任者同伴で陸上専門部委員長に挨拶                        |
| 4 月          | 売店従事者決定                                    |
| 5 月          | 委員長訪問するが売店に関して決定事項無し                       |
| 5 月          | 各メーカーの売店申請書 JSEC 藪下氏より届く                   |
| 6 月          | 委員長訪問 売店に関してはまだ何も決まっていない                   |
| 7 月          | 委員長訪問 テント設営場所決定その他詳細の説明ありましたのでこちらの希望を伝えました |
| 7 月          | 理事会開催 全中売店テント設営場所、売上目標金額、テント料金その他の説明、報告をする |
| 7 月          | 委員長より売店テント場所変更の連絡あり再度委員長訪問し、最終決定であるとのことを確認 |
| 8 月          | 13 日搬入開始<br>各メーカーへ駐車券、売店配置図を送付             |

### ■テント・警備

テントは全中の陸上専門部実行委員会で手配していただきました。

当初予定された設営場所では JSEC 加盟メーカーと組合は円を描くように設営予定でありました。各メーカーの配置についても組合に任せていただけるように実行委員長をお願いしておきましたが、設営場所が変わり、配置については実行委員会で決定されました。

警備については実行委員会で全体の警備を就けていただきましたが、メーカーと組合はこれとは別に個別警備を手配しました。

### ■売店人数

今回、組合はテント3張で6名の配置（最終日は5名）でした。その他 NES から2名のお手伝いを頂きました。

売店員の確保は参加できる地域内の組合員を対象に募集しました。できるだけ多くの組合員の皆さんに積極的に参加して頂きたいと考えたからですが、結果は予想以上に多くの応募があり、なかには4日間協力したいという組合員もいました。しかし、応募者全員が公平に参加いただけるように4日間のうち1日～2日間の売店従事日数で人員の配置を決めさせていただきました。

### ■あとがき

今回の売店売上ではメーカー売上は対前年比はプラス、組合はマイナスになりましたが、この原因は何処にあるのか、商品構成なのか、テントの配置、あるいは売店従事者なのかいろいろな角度から検証の余地があると思います。

今年の暑さは特別でした。あの猛暑の中で組合員と NES の方々には一丸となって本当によく頑張ってくださいました。ありがとうございました。千葉県ではバドミントン競技も船橋市で同時に開催されました。こちらの組合売上は売店従事者の努力の結果、対前年比2割アップでした。しかし、メーカー売上がダウンのため、合計売上は対前年比約70万マイナスでした。



## 全国中学校大会のご報告

栃木県スポーツ用品販売協同組合

専務理事 村上英喜

私の地元栃木では、ソフトボールの会場で18日～21日売店の販売をさせて頂きました。

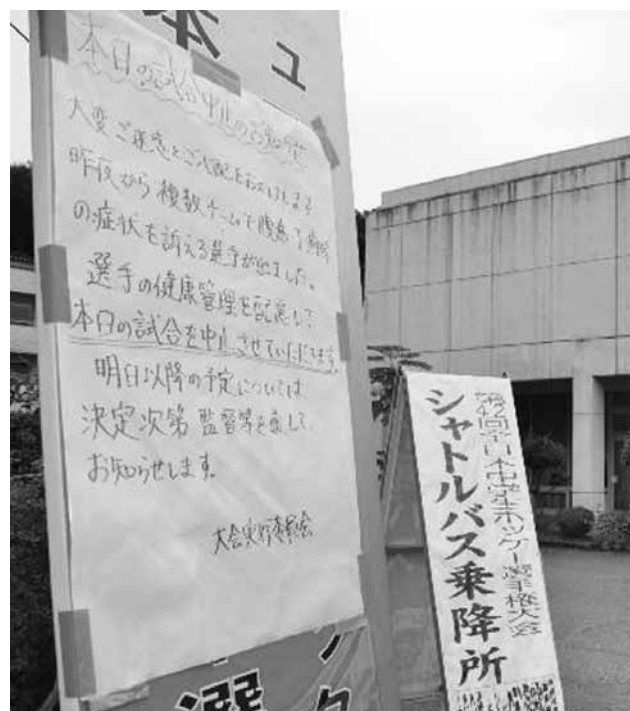
このソフトボール大会は、TVとか新聞で170人の食中毒問題が発覚した那須塩原市会場です。その時には皆様からも連絡いただき大変ご心配お掛け致しました。

細かく話しますと、18日の9時から開会式会場内の予定で、会場内販売準備をする為にトイレの前に有る机を運んでいると、トイレに長蛇の列があったという間にでき、ある県の代表の監督が「本部はどちらですか」と大きな声で叫んでいるのが聞こえました。私たち組合員は販売が始まり売店の前には人が群なり忙しく販売していました。そのうち開会式が予定より遅れて始まりひと段落するかと思っていたのですが人の数は減りませんでした。開会式が終り掛けたころに、ある父兄のお客様から、今日の試合は無しに成ったと聞き本部に確認したところ、まだ決定ではないと言われました「何故延期なんですか？」と、聞くと今は何も言えないという返事でした。

販売も2時ぐらいで終わり、明日の試合は朝9時から開始するということを聞き、店にもどると大変だったねと言われ食中毒が有った事を初めて知りました。それまでは本部は事実を隠して自分らにはそう言う報告は無かったです。TVを見て初めてこれは大変な事が有った事を知りました。その日の夜8時ごろ本部から携帯にTELが有り、試合が午後からに成りますから売店も午後から販売して下さいとその他の売店業者に連絡してくださいと連絡がありまたまたバタバタと忙しくなり何とか3日間の売店がスタートしたのが現状です。

こんな状態で売店を開始しましたが昨年の数字をクリアすることが、まず第一の目標でしたが組合では35%のUPさせて頂きました。これも奈良スポーツの方々とNESの水野様のおかげです。感謝感謝です。売店も店舗と同じでお客様に商品の魅力有り（全国大会限定）ここでしか購入が出来る物ですから売ることはとても簡単で、ただ客注を探すのにNES様を大いに利用させて頂きました。あと会場が3か所有り、携帯で連絡を取り合い在庫の移動をかけてお客様に迷惑が掛からないようにした事がこの様な結果に繋がった気がします。これで組合にも少しですが利益が増えた事がとても良かったです。

ただ自店の本決算が8月20日で全中と重なり、社員には大変な迷惑をかけてしまいました。社員に感謝しっぱなしです。



## 九州ブロックの現状と問題、そして今後の展望

九州ブロック会長 丸 山 修

### 《九州ブロックの現状》

福岡県連合会（北九州地区、福岡地区、南部地区）佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県の8県10組合で構成されています。

ブロック年会費、各県より組合員一人当たり1000円見当。ただし、組合員数30人に満たない組合は30,000円。

およそ2か月に1回九州ブロック役員会を開催しています。平成24年度は第1回を3月14日（水）、第2回5月10日（木）、第3回7月11日（水）に開催しました。引き続き第4回9月12日（水）、第5回10月12日（金）開催予定です。

九州ブロックの役員は各県理事長、副理事長、専務理事など総数18名です。

年間の主な活動として、九州ブロック総会（日程、開催場所、内容）の検討をします。今年は大分県の主管で開催されます。開催日 平成24年11月5日（月）開催場所 レンブラントホテル大分 大分市田室町9番20号 ☎ 097-545-1040 親睦ゴルフコンペ11月6日（火）大分東急ゴルフクラブ

以上が今日までの確定事項で、これからの役員会において、総会の中身を具体的に主管県大分県の考えを聞きながら決定します。総会は反時計回りに毎年開催県が変わります。長崎→佐賀→熊本→鹿児島→宮崎→沖縄→大分の順番で11月に開催されてきました。出席総数は、メーカー、卸、小売合計で90名～100名前後ありますので、ブロックの総会としては、賑やかな方ではないかと思っております。

九州ブロックソフトバレーボールフェスティバルを毎年1回開催します。九州各県（沖縄県除く）スポーツ組合が推薦するレディース（年齢フリー）32チームで優勝を争います。今年は鹿児島県主管で開催されることが決定しております。開催日 平成24年10月12日（金）開催場所 牧園みやまの森運動公園「牧園アリーナ」鹿児島県霧島

市牧園宿窪田 2992 参加料 3,000円

### 《九州ブロックの問題》

国体、高校総体、全中大会などJ S E Cが関わる大会での販売は、長年の先人たちの御努力もあり、問題もなくできるのに対して単一の競技大会での販売でのトラブルが多くなっているようです。

小売店の日々の販売が厳しくなり、いままで見過ごしていたものに、真剣に眼を向け始めたという事でしょう。協会、メーカーとのかねてからの信頼関係を築くことが一番大切です。大会直前に突然販売手数料の話を持ち出されても混乱するばかり。大会の情報をできるだけ早く得て、素早い行動で小売本来の仕事に徹することの必要性を感じています。

次に、小売店店頭販売が、日毎に厳しくなった結果、外商の競争激化により、組合員同士での衝突も避けられない時代となった。各県から、この実態をよく耳にするが、メーカーの販促と相まってなかなか難しい問題のようです。これは、かなりの部分、各県で解決しなければならない問題ではありますが、ブロックでもメーカーとの交渉など関与できる場所はあると思います。

### 《今後の展望》

ブロックの話ではないが、組合員の増強に尽きると思います。組合員数の増減が、ブロックの活動を大きく左右するなかで、なかなか会員の減少に歯止めがかからないのが、一番の問題です。

全国の組合員が元気になり組合員が増加することが単純ではあるが、必要です。また組合員の高齢化が進んできました。どんな組織でも、年齢のバランスが取れていない組織は活性化しません。若返りを図ろうにも若手の小売店ができない実情があり苦しいところです。

## 「第10回 JSERA 四国ブロック大会」(愛媛大会)について

愛媛県スポーツ用品小売商組合

理事長 高倉 浩 紀

平成24年8月28日四国では2年に1度のブロック大会「第10回 JSERA 四国ブロック大会」を来賓3名、メーカー・卸12名、香川県10名、徳島県5名、高知県9名、愛媛県16名、計55名の参加にて連日30度を超える残暑の中、愛媛県松山市にて開催致しました。

前回8年前での愛媛大会は大型台風の接近の為、会場までお越し出来ない方々もあり、大変なブロック大会だったと記憶しておりますが、今回の愛媛大会は天候も良く無事開催出来ました。

今回はJSERA 重森仁理事長をはじめ大阪スポーツ用品卸商業組合の佐々木恭一理事長、日本スポーツイベントサービス推進協議会からも戴下孝三様にもお越しいただき、我が四国のメンバー

にとって大変有意義な大会が開催出来た事を大変有難く思います。

メーカー、卸の方々も含めた「三層懇談会」では四国四県の非常に厳しい現状報告をはじめ、JSERA 重森理事長の「JSERAの現状について」と言う表題で講演も頂きました。

重森理事長の講演では体育器具の破損事例や点検、安全指導など、我々が日々必ずと言っていいようにいつかは遭遇するであろうトラブル事例など現場の泥臭い仕事内容や、値引きしないで売れるインターネット商品、体育器具の「安全・安心」を訴える先(相手)のお話等をお聞かせ頂きJSERA 理事長なのですが、私のように地方の新任の理事長にとって、「雲の上の存在」ではなく、







まぎれもないスポーツ用品店の「同志」なのだと痛感させて頂きました。

四国四県の現状としては組合員数の減少をはじめ、スポーツ大型量販店の進出、インターネット販売の乱売と何もイイ事が無い中で現状を把握した上で如何にして生き残るかの「前向き」な報告もあり、少しはヒントとなる事を感じ取れたかと思えます。

その報告の中でも高知県では前回の JSERA レポートにも掲載されていたように体育器具での「事故防止のための手引き」をもとに組合加盟店のメリットを地元ユーザーに理解してもらえる行動を積極的に起こしており、体育器具の点検や交換時期などの「気づき」を示し、促し、「スポーツは人が汗をかくて行うもの。我々も汗をかき行動を起こすこと」が組合の活性化になり、「我々の行動には責任が伴い、専門家としての自覚を持ち社会貢献を、していると自負し、組合員の事業繁栄になれば・・・」と言う様に新しい市場を作り始めているとの報告がありました。

愛媛県からは発表者が私と同年で松山銀天街商店街の「(有)ナニワヤ運動具店の岡野君」と言う事もあり、私たちの世代感や厳しい商店街から見た現実を結構本音で発表したと思います。

彼はインターネット情報に精通しており、愛媛県組合の IT 部門のリーダー的存在です。

特にインターネット販売での価格乱売の原因は誰が作ったのか？と言うくだりでは、原因は他業者ではなく「我々スポーツ用品販売店にあり」と言う事実を改めて現状報告から気づかせてくれました。ネット販売に於いて値崩れを引き起こして

いるのは組合に加盟、無加盟かは定かではなくとも「我々スポーツ用品販売店」なのです。決して異業者が市場を引っかき回している訳ではないのです。

会合などでは量販店対策やネット対策と謳いつつ、実は私たち自身がネット販売を通じて乱売しているのです。確かに来店いただけるお客様が減少している中でネット販売でもしなければ売り上げが上がらないと言う事も事実でしょうが、ある程度節度を持ってネットを推進していくべきなのではないでしょうか？新製品のジャージを 20% や 30% も値引きの上送料無料などにしてはダメだと言う事です。結局自分で自分の首を絞めているわけなのですから・・・

又、もう一つ彼が気づかせてくれたのが「ケガした人でも出来るスポーツの提案」です。

丁度この原稿を書いている最中「ロンドン・パラリンピック」が開催中であります。彼等を見ていると我々より「凄い！」と思わされます。そこまで専門的に特化しなくても単に「ケガした人」に出来る「やさしいスポーツ（運動）」って何か？を探そうと思います。若い人は若い人なりに、中高年には中高年なりに、どこかが傷んでくるのではないのでしょうか？何があてはまるかは各販売店によって少し違いはあると思いますが、何かあるのではないのでしょうか？あるはずです！

今回は遠路はるばるお集まり頂いた皆様、本当にありがとうございました。皆様のお蔭で無事「第 10 回 JSERA 四国ブロック大会」を開催出来た事を嬉しく思い感謝致します。最後になりましたが皆様の今後益々のご活躍を祈願し「第 10 回 JSERA 四国ブロック大会」報告と致します。



## 関東甲信越ブロック協議会 定時総会報告

関東甲信越ブロック協議会

専務理事 山田 幸男

去る9月27日、28日千葉県鴨川市『ホテル三日月』において、来賓3名、メーカー卸様27名、組合員28名、JSERA重森理事長にもご出席をいただき総勢69名の参加にて関東甲信越ブロック協議会定時総会が開催されました。

おりしも、台風18号が沿岸をかすめるという天候状況ではありましたが、全員予定通り到着され定刻通り役員会、総会が開催されました。

総会は関口孝夫関ブロ専務理事の司会、後関成夫関ブロ副会長の開会宣言により開始され、関水正章関ブロ会長の挨拶に続き重森仁JSERA理事長にもご挨拶をいただき開催県理事長であります鈴木敏郎千葉県組合理事長が議長に指名され議案審議が進められました。23年度の事業、決算、会計監査報告、24年度の事業、予算案が上程通り承認されました。

今年は役員改選期にあたり、関水会長より改選についての上程があり、経過説明報告後、穴戸幸市栃木県組合副理事長を指名し全会一致で承認されました。

新役員は以下の通りです。

|       |             |    |
|-------|-------------|----|
| 会 長   | 穴戸 幸市（栃木県）  | 新任 |
| 副 会 長 | 青柳 征文（埼玉県）  | 新任 |
|       | 石田 博（新潟県）   | 新任 |
| 専務理事  | 山田 幸男（埼玉県）  | 新任 |
| 会計理事  | 石崎 照雄（栃木県）  | 留任 |
|       | 村山 明宏（神奈川県） | 新任 |
| 監 事   | 田辺 裕人（山梨県）  | 新任 |
|       | 坂下 英雄（茨城県）  | 新任 |
| 相 談 役 | 伊藤 章（新潟県）   | 留任 |
|       | 神山 利秋（山梨県）  | 留任 |

2期4年間にわたり関ブロの牽引車としてご尽力いただきました関水前会長及び役員の方々に敬意を表しますとともに新役員として最大限の力を発揮し組合員の健全な経営に寄与することをお誓いいたします。

第二部は来賓、メーカー卸様もご参加いただき、アシックス山のマイスター重廣恒夫氏をお迎えし『日本百名山登頂について』と題した講演をしていただきました。

講演は映像も加え山の素晴しさはもとより登山の歴史からビジネス、ファッション等幅広い多岐にわたるお話で登山とは縁の無い私にも80分があっという間に過ぎる興味深いお話を拝聴いたしました。

さて、一部、二部も終了し上着着用の堅苦しさから開放される休憩時間になりました。

台風の厚い雲が垂れ下がる太平洋の眺望もまた良し。ここ鴨川三日月ホテルはかつて盗難で有名になった1億円の黄金風呂があり、ゆったりつかる者あり拝む者ありで黄金の恩恵を享受し汗を流し疲れを癒しました。

第三部、懇親会においては須山武東京スポーツ用品卸商協同組合理事長よりご挨拶をいただき三層が日頃の情報を交換しながら和気あいあいと親睦を深め合いました。

短文ではありますが、関東甲信越ブロック協議会定時総会をかいつまんでご報告申し上げます。

最後に、心のこもった素晴らしい総会を運営していただいた主管千葉県組合の鈴木理事長はじめ組合員の皆様に深く感謝申し上げます。

## 仕入れ商品以外の売り上げづくり

福井県スポーツ用品協同組合

理事長 竹原 和彦

“商品の仕入れ”をしないで“売り上げ”をつくったり商品を加工することで、もっと売り上げを増やす事は出来ないものだろうか…。

我々はメーカーや卸から自分が売りたい品の仕入れをしているが、それをそのまま販売するのが自分らの商売のやり方だと思ってきた。

そんな事を何年もくり返してきながら、自分達が得てきた何らかの技術を使ったり、加工したりしてその価値を発揮し、更に高めての仕事が大切に出来てない事は残念な話である。

例えば、野球のユニホームや球技シャツ等にマーキングをする仕事がある…又、毎年卓球やテニス・バドミントン等のゼッケンづくりの作業がある…。

それに卓球のラバーをはったり、テニスやバドミントンのラケットにガットをはったりの作業もある…。

野球スパイクのP革の取り付けや裏金の取り換えがあったり、スラックスのスズ直しもあったりするから、考えてみると我々の身近な所でも商品を加工して売り上げづくりをする事は、意外といろいろあるものだ。しかしそんなせっかくの機会を我々は大事にしないで、正当な利益も得ないで過剰なサービスをしているような事はないだろうか…。「自分の技術で出来るサービスだから安くしてもかまわない」というのは、値引きをしなくても売れた時代の話で、今の様な状況だったら、それでは利益を得る場所をなくしてしまう事にはならないだろうか…。

こんなにも、売れなくなって厳しい時代になっている事が分かっていながら、利益がなくなるギリギリまで値引をした上で、更に技術までサービ

スをして、無料で配達をして、それを売り掛けにしたりしているが、こんな体質のままで、これからも本当にやって行けるものだろうか…。ついつい、「逆も、また真なり」で“売る人の満足”があつての“買う人の満足”もあつて良いのでないかと、自分勝手に思ったりしてしまう。

4～5年前だったか、卓球ラバーの接着のりが“水性のり”に変わった時、講習会を受けたり、接着のタイミングの難しさがあつて、ラバーはりの技術が問われた事があつたが、「この機会にラバーのはり代を見直してキチッともらえるようにしよう！」と多くの人達に呼びかけた事があつた。福井県内では、以前からラバー1枚毎にはり代は210円というのは守られてきているが、当時ラバーの接着の仕方が一段とわずらわしくなってきた事もあつたので、一年以上の間、1枚につき私共の店では420円のはり代を頂いた時もあった。そのために、ラバーはりを断られたり売り上げが少なくなるという事はなかったし、むしろ「キチットはろう」という自覚が出来たように思うから、要は我々自身の気持次第ではないかと思う。

又、テニスやバドミントンのガットのはり代は会合の場で1,050円が適正だろうと皆んなで申し合わせをしたのに、その後、大型店のラケット販売のやり方に惑わされてしまって店によっては自信をなくしたり“疑心暗鬼”になって、中にはガットのはり代を安くしないと買ってもらえないような錯覚になっている店があるのは残念な事である。ガットのはり代を安くするのはその店として正当な利益を落すだけで、その事によって売り上げを増やす事にはならないはずである。「それ位の事」と思うような小さな事でも年間にとると、

私共の店でのはり代は、300 万円以上にもなっているから、やはり大事に考えて値引をしないで、その分時間をかけて欲しい時間に合わせて細かなガットの編み作業でのテクニック・技術の魅力を大切にして価格への信頼につなげたいと思っている。ホームセンターで粒の大きさが違う目のサウンドペーパーを 4 種類それぞれ 5 枚ずつ買って、1 枚例えば 20 円位のペーパーを 8 等分すると 1 枚当り 3 円位になる。それを粒の大きさ別に 4 粒セットにして 48 円で売る。これは、ラバーのはり替えの時ののりけづりや、グリップの調節けづりの時に必要で重宝されている。

又、いろんな色のハチマキに自分の好きな言葉を入れてみるのも良い。“闘魂”とか、“一球入魂”

“絆”“全力投球”等の文字を、いろんなカラーで入れてみると人目を引き楽しくなってくる。同じように、タオルやTシャツ、トレーナー等にも加工する事で、仕入れ以外の思わぬ売上げづくりが出来るし、その比重が高まれば利益率も高まって他店とは違った価格以外の魅力になるだろう…。こうした加工で得る売上げが自分の店では年間どれ位になるのかを明確にして、もっと意識して取り組みれば、きっと“店の利益率アップ”になるはずである。「こんな事ぐらいで…」とあきらめないで、一つひとつ気持ちを加えた商品づくりを積み重ねればその店らしい新たな売上げづくりが出来るものと思っている。

### ゴールドウィン創業者 西田東作氏を悼む

ゼット株式会社 代表取締役会長  
渡 辺 泰 男

西田東作様のご逝去は、誠に残念で心から哀悼の意を表するものです。最近ではお会いする機会のないまま、元気でお過ごしのこととだけ思っていただけに、訃報は突然で驚きと哀惜の情を禁じ得ません。私が社会人としてスタートした時から、販売代理店としての取引関係があり、公私共にご指導いただきました。優れた経営理念、情熱を秘めた笑顔、社員への愛情、取引先との信頼関係などから、本当にたくさんの事を学ばせて頂きました。リーダーとして向かうべき方向や、あるべき姿を熱く語っておられた姿が目に残ります。裏心より感謝申し上げます。

西田様は 1925 年（大正 14）富山県小矢部市で誕生され、兄弟の半数が戦死されるなど戦争で厳しい時代を体験。終戦後は末っ子ながら家族を支えなければならない立場となり、

1951 年ゴールドウィンの前身「津沢メリヤス製造所」を 10 人程で立ち上げました。靴下、セーターなどを作り、富山だけでなく金沢まで売り歩き、これが飛ぶ様に売れたそうです。

「これからはスポーツの時代が来る」と実感しスポーツウェア専門メーカーに転進、社名も黄金の勝利を意味する「ゴールドウィン」に変更され、東京五輪ではバレーボール大松博文監督に金メダルをもたらした話は有名です。その後スポーツ市場の拡大と共に、いち早く「フザルプ」「エレッセ」「チャンピオン」など海外ブランドとの連携を進め、その技術や品質に対するあくなき追求の姿勢は、相手方に強いインパクトを与えてきました。

そして 1995 年東証一部に上場。一代で日本を代表するスポーツウェアメーカーに成長させ、スポーツ産業界の発展に多大な貢献をされてきたのも、衰えを知らない情熱の賜物だと感じています。勲四等旭日小綬章やオーストリア共和国大栄誉有功銀章など数々の栄誉に輝かれ、全連団連や日本スポーツ用品工業協会などの会長もされるなど、功成り名遂げられた生涯ではなかったかと改めて敬意を表する次第です。心よりご冥福をお祈りします。



## 大丈夫かな日本

広報委員長 角 前 博 道

次に2年生の習う所に「人のアヤマチヲユルセ」と云う話しが載っています。それは次の通りです。

「小太郎君は野原へ出て文吉君の来るのを待っていました。その間に文吉君から借りたサッカーボールを蹴って待っていました。ところが強く蹴りすぎて、川の中へボールを落として失くしてしまいました。それで文吉君が来た時、そのわけを話してわびました。文吉君は「過ちだから仕方がない」と云って許してやりました。この話し今だったらどうなるのでしょうか? 「僕の大切なサッカーボールだったのに、どうしてれるんだ!」と怒り狂うかもしれないし、ちょっとマセていれば「弁償してくんない」くらいのことは言いかねないでしょうね。そしてそう云う子供に限って「お母さんに何て云おう」とオドオドするのではないのでしょうか。ボールそのものが大事と云うよりは、母親が怖いのです。「そうなの小太郎君を許してあげたの! 文ちゃん偉かったわね。又新しいボール買いに行きましょうね」と云える母親が現在どれくらいいてくれるのでしょうか? 「どうして貸したのよ! 新しいの返してもらって来なさいよ」と怒鳴りつけたり、メールで他の母親に小太郎君とは遊ばない方がいいわよ。」等々云いかねないと思われまふ。母親が怒ると思うから、友達を許すことが出来にくいのではないのでしょうか? ここでもう一つ見落としてならないことは、小太郎君が素直に謝ったことだと思います。「ボール知らないよ」とウソだつてつけるし、そのまま知らん顔して帰ることだつて出来るのですから…。

この話で大切なことは謝る勇氣、それを許すやさしさの両方を教えて、この話しが生きて来るのだと思います。人間は過ちを犯す生き物であることを大人は知りながら謝れず、許さず、角と付き合せて生きている。自戒の念を込め、いま一度、寛容について考えてみたいと思います。

修身教育については、まだまだ参考になる様な話しがたくさんあります。絵が書いてあるだけのページもあります。あれはどの様にして教えたのでしょうか。教師用の説明書でもあったのでしょうか…?

さてその修身教育の元になった教育勅語について少し考えてみようと思います。教育勅語は、前号の初めでもふれた様に、日本が近代国家として成長し移行して行く大切な時期に出来たものですが、軍隊や法律の整備をする為に共通の言葉が必

要になったため、正確さをつかさどる言葉として漢文脈が用いられてあの様な文になったと聞いています。

そしてこの勅語の発端は、地方の県知事たちの危機感だったそうです。近代国家を目指し欧米列強のまねごとが盛んであった当時、地方の教育現場をつぶさにみていた県知事たちは、日本人のよりどころが失われていくことに強い危機感を抱いていた様です。それは知識や才芸が重んじられ、知育教育を主として徳育を教える時間が極端に少ない状態を憂慮して、徳育涵養（水がしみこむように養成すること）に関する建議を地方官会議に提出しました。これを受けて、欧州事情に精通していた官僚の井上毅が教育勅語を起草したそうです。この教育勅語の目的は「日本人が日本人である姿とは何か」を明確にすることでしたが、井上氏が命を削って作った勅語であります。大変素晴らしいリズム感のある名文だと云われています。勅語を作るに井上氏が注意をした点が6個程あるそうです。それは①特定の宗教に導かない。②哲学上の議論をしない③政治的なことは、一切入れない④儒教臭を入れない⑤洋学臭を入れない⑥「～してはいけない」という表現形式を入れない。等々相当な学識がないと出来ないものでした。

そしてもう一つポイントは、祖先への敬愛を盛り込んでいる点だと思われまふ。現在わが国の悲劇は、個人の欲望を抑止するものが欠けていることであり、学校も疑似個人主義と云うか、利己主義を教えている様に見えてなりません。

### ● 編集後記 ●

今、全国の我々の仲間が官公需施策の中で地元中小企業者や官公需適格組合向けの発注額の減少に困っているのではないのでしょうか。受注機会の増大や公正な取引を図るため各県の中小企業団体中央会へお願いをされてますか。(1) 組合随意契約など法令により実施が可能な制度の活用を図り、事業協同組合等の受注機会の増大を図ること、(2) 学校のクラブ活動で使用するスポーツ用品の発注に関しては、同等品ではなく競技規則によって規定した競技用具又安全安心を充分に考慮したこれと云う商品を入札の品目とすること。折角足を運び、見積を多数取り寄せ決定してもらった物品を全く同等とは云い難い安物で落札されていないのでしょうか。安物買いの銭矢ないと古くから云うではありませんか。各県の中央会は結構頼りになると思いますよ。(中央会さん、失礼はおゆるし下さい)

(H.K)